

事務事業名	真壁図書館管理運営事業	事務事業No.	30203000643	所属課	生涯学習課
-------	-------------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	図書室委託事業として開始。平成9年よりボランティアとして協力してもらっていた方を、平成16年度からは委託事業としてシルバー人材センターからの派遣で、図書事務に従事。平成23年度で委託事業は終了となった。平成24年度からは、真壁伝承館内の真壁図書館運営事業としてスタートした。平成23年度からの図書システム導入により、貸出、返却、資料管理等がスムーズに行えるようになった。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	平成23年度の9月より真壁伝承館真壁図書館として運営している。利用者からは、システムによる図書の貸出や予約、リクエスト、資料の提供などスムーズに行えているため大変好評である。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	乳幼児から高齢者まで利用ができる図書館の運営は、生涯学習の場として結びつくものである
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	地域や地場産業が必要とする分野の情報や資料を提供し、地域間の情報格差の解消に役立っています。また、学習活動、文化活動を奨めることにより、新たな地域文化が生まれ、市の活性化に繋がるため妥当である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	図書システムの導入により、インターネット環境があるため資料検索が行える。現在は、真壁図書館のみのシステム稼働であるため、岩瀬・大和中央公民館の図書室の資料活用ができるようシステムの導入は考えなければならない。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	図書館として多くの利用者が来館し、滞在時間も長くなっている。学習室、閲覧室は、多くの学生等が利用しているため、廃止休止の影響は大きい
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	具体的な手段、事務事業名
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	利用者の求める資料や情報を幅広く提供していかなければならないため、資料費等の削減余地はない。図書の管理は、人の手が必要となるため、人的配置は必要である。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	資料提供や図書の貸出等、無償であることから公平である

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																							
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	真壁図書館のみの図書システム稼働となっているため、岩瀬・大和中央公民館との連携が行えない状況にある。利用者の利便性を考え、いち早くシステムの連携が必要である。																							
(3) 今後の事業の方向性	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																							
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																								
真壁図書館では、図書システムの導入によりインターネット環境のあるところでは資料検索が可能である。岩瀬・大和中央公民館の図書室にある資料検索は職員のみ検索可能であるため利用者は検索できない。図書の有効活用ができるようシステムの統一が必要と考えられる。今後は寄贈図書や資料図書の寄贈の装備等に経費が掛かるため受け入れをを検討する。真壁図書館だけでなく、岩瀬・大和中央公民館への図書システムを導入し、図書館の連携が必要である。資料の検索や各図書室で所蔵している図書についても検索できるようになり有効活用されるようになる。	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> </table>	成果	向上				維持		○		低下						コスト					削減	維持	増加
成果	向上																							
	維持			○																				
	低下																							
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
(6) 事務事業優先度評価結果																								
成果優先度評価結果	③																							
コスト削減優先度評価結果	⑦																							

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>